

# 平成 24 年度 健康管理センター活動報告

## 活動方針 1：健康教育活動の活性化（1）健康教育講座の開催、（2）健康教育活動における課題抽出、（3）学生の健康課題抽出

### （1）健康教育講座の開催

#### ①健康教育講座開催状況

\*参加者率；対象学年の参加者割合、 +○名；対象学年以外の参加者数

|   | テーマ                                     | 講 師                                   | 日 時                     | 場 所              | 参加者数<br>(参加率)           | 主な対象<br>学年 |
|---|-----------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------|------------------|-------------------------|------------|
| 1 | ストレスとの上手なつきあい方～version2～                | 高知県立大学<br>看護学部<br>畠山卓也 先生             | 5/29 (火)<br>17:30～19:00 | 永国寺南学舎<br>137 教室 | 92 名<br>(18.1%)<br>+1 名 | 3・4<br>回生  |
|   |                                         |                                       | 6/6 (水)<br>17:50～19:20  | 池大講義室            |                         |            |
| 2 | ラジオ体操、ウォーキング……<br>健康的に痩せるコツ、知ませんか？      | 高知県立大学<br>地域教育研究センター<br>清原泰治先生        | 6/20 (水)<br>17:50～19:20 | 池大講義室            | 4 名<br>+1 名<br>(教員)     | 全学生        |
|   |                                         |                                       | 6/27 (水)<br>17:30～19:00 | 永国寺 管理<br>棟会議室   |                         |            |
| 3 | 健康的な食事とダイエット                            | 高知県立大学<br>健康栄養学部<br>廣内智子 先生<br>田中守 先生 | 6/28 (木)<br>17:50～19:20 | 池大講義室            | 79 名<br>(26.6%)         | 2 回生       |
| 4 | 女性の健康とからだについて<br>～自分やパートナーのからだ<br>を知ろう～ | 高知医療センター<br>婦人科医師<br>木下宏実 先生          | 7/5 (木)<br>17:40～19:10  | 永国寺南学舎<br>131 教室 | 114 名<br>(39.4%)        | 1 回生       |
|   |                                         |                                       | 7/12 (木)<br>17:50～19:20 | 池大講義室            |                         |            |

#### <対象学年の参加人数と参加率>

| 対象学年 | 24 年度<br>(総学生数：1093 名) |       | 23 年度<br>(総学生数：1076 名) |       | 22 年度<br>(総学生数：1006 名) |       |
|------|------------------------|-------|------------------------|-------|------------------------|-------|
|      | 参加者数                   | 参加率   | 参加者数                   | 参加率   | 参加者数                   | 参加率   |
| 1 回生 | 114                    | 39.4% | 168                    | 56.9% | 216                    | 77.1% |
| 2 回生 | 79                     | 26.6% | 101                    | 35.9% | 31                     | 13.6% |
| 3 回生 | 80                     | 28.7% | 17                     | 7.5%  | 8                      | 3.3%  |
| 4 回生 | 12                     | 5.3%  | 56                     | 21.1% | 65                     | 25.1% |
| 合計   | 285                    | 26.1% | 342                    | 31.8% | 320                    | 31.8% |

### ②アンケート結果

#### a.講演内容に関して

|          | 3 (回答者数：207 名) |               |              |             |             | 4 (回答者数：207 名) |               |             |              |
|----------|----------------|---------------|--------------|-------------|-------------|----------------|---------------|-------------|--------------|
|          | ア              | イ             | ウ            | エ           | 無記入         | ア              | イ             | ウ           | 無記入          |
| 1        | 34             | 32            | 4            | 0           | 0           | 50             | 16            | 0           | 0            |
| 2        | 14             | 30            | 4            | 0           | 2           | 39             | 7             | 0           | 4            |
| 4        | 57             | 27            | 2            | 1           | 0           | 81             | 6             | 0           | 0            |
| 24<br>年度 | 105<br>(50.7%) | 89<br>(43.0%) | 10<br>(4.8%) | 1<br>(0.5%) | 2<br>(1.0%) | 170<br>(82.1%) | 29<br>(14.0%) | 0           | 4<br>(1.9%)  |
| 23<br>年度 | 152<br>(56.3%) | 95<br>(35.2%) | 20<br>(7.4%) | 1<br>(0.4%) | 2<br>(0.7%) | 221<br>(81.9%) | 36<br>(13.3%) | 5<br>(1.9%) | 8<br>(3.0%)  |
| 22<br>年度 | 175<br>(60.4%) | 84<br>(29.0%) | 23<br>(7.9%) | 5<br>(1.7%) | 3<br>(1.0%) | 242<br>(85.9%) | 24<br>(8.5%)  | 6<br>(2.1%) | 10<br>(1.0%) |

\* 3 のア：とても勉強になった、イ：勉強になった、ウ：普通、エ：知っていることばかり

＊４のア：健康について今まで以上に関心を持って行動しようと思った。

イ：健康に関心は持ったが、行動には結びつきそうにない。

ウ：健康への関心度に変化はなかったし、行動に結びつけようとも思わなかった。

**b.今後の講演希望（自由記載）**

< 1 回生 > 子育て、健康的な食事（具体的に）、乳児の健康とからだ、最近の若い人に多い病気、ダイエット、生理不順の改善方法、乳がん、月経異常の予防や治療、食事習慣と妊娠の関係、ストレスが及ぼす健康被害

< 2 回生 > スポーツ栄養、具体的な料理、若い女性が罹患しやすい病気、世界の食べ物、ご飯の作り方、好き嫌が多い時の対処法

< 3 回生 > 食事について、睡眠について、うつ病について

**c.開催日程等への意見（自由記載）**

< 1 回生 > 開始時間を考えてほしい（時間が遅い）、

< 3 回生 >

・時間帯がちょっとネックかなと思ったが、内容に見合ったものなので参加して良かった。

・この時間に開催されると疲れる。空きコマとかにしてほしい。

**（２）健康教育活動における課題抽出**

アンケート結果から、昨年度同様、参加した学生は講演内容におおむね満足が得られたと考える。

今年度は、学生の要望を取り入れて、すべての講座を夏休みまでの期間に開催したが、全体の参加率は 26.1% であり、昨年度の 31.8% を下回る結果となった。

特に永国寺キャンパスで開催した講座には、まったく参加がなかった。放課後に開催せざるを得ないこともあり、時間割に空きがある学生さんにとっては、放課後までは待てない状況があるのではないだろうか。

**（３）学生の健康課題抽出**

学生委員会が実施する「高知県立大学学生生活実態及びニーズ調査」に、「健康に関連する項目」を提案してアンケートを実施した。（調査期間：平成 24 年 10 月、回収率 81.3%）

「高知県立大学学生生活実態及びニーズ調査」の健康に関する項目の結果では、学年を追うごとに朝食を摂らない傾向にあること、食生活で改善したいこと、半数強の学生が不安や悩みを持っていることやその内容の傾向等を知ることができた。

**< 今後の課題 >**

- ・次年度の健康教育講座の開催時期・内容等を 24 年度内の運営委員会で決定し、すべての講座を前期に開催できるよう、また、永国寺キャンパスでは、空きコマで実施できるように計画する。また、学年担当教員の協力を得るような、学生への周知方法をさらに検討する。
- ・「高知県立大学学生生活実態及びニーズ調査」の健康に関する項目の結果を健康教育講座等に反映させる。

**活動方針 2：健康自己管理活動の促進（１）学生の主体的な健康管理の支援、（２）健康管理に関する情報発信**

**（１）学生の主体的な健康管理の支援**

年度当初のガイダンス時に、「健康管理センターのしおり」に記載している当センターの利用や健康教育講座の開催、ヘルスパスポートの活用、さらに、資料を作成し「感染症の出席停止期間の変更」等について説明した。

メンタルヘルス面で課題を抱えている学生の学年担当教員（センター協力員）と情報の共有や連携をおこない、対応した。

**（２）健康管理に関する情報発信**

感染症予防に関するポスターを学内に掲示し、注意喚起を促した。

当センターHP に『ヘルスパスポート』の全ページおよび専門職による健康相談日予定等を掲載した。・

**< 今後の課題 >**

必要最低限の情報発信はできている。引き続き、新年度ガイダンスやセンターHP 及び学内掲示板を活用して、情報発信おこなう。

**活動方針3：健康相談活動の充実（1）専門職による相談機能の維持、（2）学生が利用しやすいセンターになるように工夫する**

**（1）専門的相談機能の維持**

専門職による健康相談をほぼ予定どおりに開催した。利用者数は、下記の表のとおりである。

|     |       |    | 精神科医師 | カウンセラー | 婦人科医師 | 助産師 |
|-----|-------|----|-------|--------|-------|-----|
| 池   | 24 年度 | 日数 | 1 2   | 3 8    | 2     | 4   |
|     |       | 件数 | 2 2   | 3      | 8     | 4   |
|     | 23 年度 | 日数 | 1 2   | 3 6    | 2     | 4   |
|     |       | 件数 | 1 4   | 9      | 3     | 5   |
|     | 22 年度 | 日数 | 1 2   | 3 4    | 3     | 4   |
|     |       | 件数 | 1 1   | 1 5    | 5     | 7   |
| 永国寺 | 24 年度 | 日数 | 1 0   | 4 0    | 2     | 2   |
|     |       | 件数 | 1 4   | 3 5    | 1     | 1   |
|     | 23 年度 | 日数 | 9     | 4 4    | 2     | 2   |
|     |       | 件数 | 1 8   | 4 0    | 6     | 1   |
|     | 22 年度 | 日数 | 1 0   | 3 9    | 1     | 2   |
|     |       | 件数 | 2 1   | 4 5    | 0     | 1   |

**（2）学生が利用しやすいセンターになるように工夫する**

昨年同様、開室時間の延長や昼休みの時間帯の開室等の工夫をおこなった。

さらに、10 月からは、勤務時間内で看護職員がセンターを離席する場合でも、電話を受けることができるように専用の携帯電話を所持して対応した。教職員にはメール等で、学生には学内掲示で知らせたが、電話を受けて対応したのは、池キャンパスでの 1 件（学生の急な体調不良）のみであった。

**<今後の課題>**

- ・専門職による健康相談は、同様に継続する。
- ・携帯電話を窓口とした相談が可能であることを、周知の方法を工夫した上で、再度学生に知らせ、さらなる活用をうながす。
- ・「学生生活実態及びニーズ調査」の「健康管理センターの対応・サービスに満足していますか」の項目で、「満足していない」理由として「対応が悪い、つめたい」などの意見<876 名中 8 名 (0.9%)>があった。具体的な内容は不明であるが、より一層に注意をして対応する必要がある。

**活動方針4：健診活動の強化（1）健診後のフォローアップ体制の整備、（2）精神的状態の把握とフォローアップ体制の整備**

**（1）健診後のフォローアップ体制の整備**

健康診断の結果をもとに看護職員の判断で必要な学生には、個別面談をおこなった。さらに、学校医の判定後に受診を勧めるなどの個別面談をおこない、対応した。

**（2）運営委員会での検討の結果、平成 25 年度に全学生を対象として UPI 精神的健康調査をおこなうこととなり、予算要求をおこなった。**

**<今後の課題>**

- ・全学生を対象とした UPI 精神的健康調査の方法、限られた看護職員による調査結果の学生へのフィードバックをどのようにするのか等の検討が必要となる。

**活動方針5：健康管理データベース構築に向けた取組み**

5 月の運営委員会から内容について検討を始め、総合情報センター教員の支援を受け、セキュリティ面を第一に考え、業者との打合せを重ねた。その結果、学生個々人の健康診断結果やセンター利用状況及び専門職による健康相談の利用状況等が時系列で把握できるシステムができた。

**<今後の課題>**

健康管理システムを実際に使用して、当初目的としていた学生個々人の時系列での健康状態の把握が

十分にできるよう、システムの改善のあり方について検証する。

#### **活動方針6：危機管理体制の確立に向けた取組み**

24年度から変更した「夜間・休日の緊急時の連絡網」、「感染症発症時（疑いも含）の連絡網」及び感染症出席停止期間について、在学生には新年度ガイダンスの際に資料を配付して説明した。

危機的状況にある学生に関して、メンタル的に危機的状況を把握した場合、或いはそのような状況であるか否かを判断しかねる場合やその対応に困難が生じた場合の対応を整えた。

#### **<今後の課題>**

メンタル的に危機的状況にある学生（又はその可能性がある学生）への対応について、引き続き検討する。